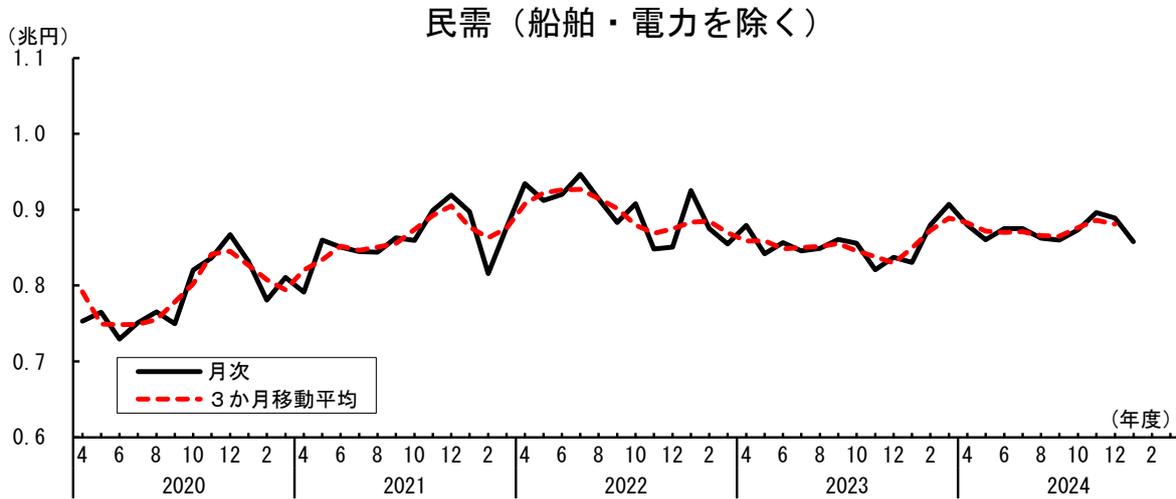


機械受注統計調査(令和7(2025)年1月実績)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、1月は前月と比較して3.5%減少し、2か月連続の減少となった。
- この要因として、内訳をみると、製造業が1.3%減、非製造業(船舶・電力除く)が7.4%減となったことが挙げられる。
- こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きがみられる。



対前月(期)比

(単位: %)

需要者	期・月	2024年 (令和6年)				2025年 (令和7年)	2024年 (令和6年)				2025年 (令和7年)
		1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	10月 実績	11月 実績	12月 実績	1月 実績	
受注総額		5.1	5.9	△2.6	5.4	0.8	15.6	△10.7	△2.6	9.8	
民需		△1.6	12.5	△12.9	9.9	△4.7	20.0	△10.5	△5.0	3.5	
〃(船舶・電力を除く)		4.1	△0.1	△0.7	2.3	△2.2	1.6	2.6	△0.8	△3.5	
製造業		△0.3	3.9	△5.1	9.0	△3.5	8.8	5.3	△8.4	△1.3	
非製造業(除船・電)		6.1	△3.9	2.4	△0.7	△2.7	△1.5	1.3	3.3	△7.4	
官公需		40.9	△22.7	24.8	31.3	△8.5	45.0	△24.9	△10.2	59.7	
外需		△2.5	15.3	0.2	△5.3	4.1	4.6	△3.8	6.5	1.9	
代理店		2.1	△5.4	6.3	△2.5	5.0	△2.5	4.8	△6.8	6.6	
民需(船舶電力を除く)	3か月移動平均	-	-	-	-	-	1.3	1.1	△0.6	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2024年12月末時点の調査。
4. 2025年1月調査(同年3月19日公表)において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2025年1~3月見通し」(同年2月19日公表)も改訂されている。